



一人一句

二月兼題・蠟梅・冬の梅
ろうばい

第二六〇回

蠟梅の香に迎えられる在宅医	敏子
薄き陽に紅点しけり冬の梅	武子
細やかに孤を巻かれし冬の梅	昭子
改築の農家モダンに冬の梅	寿子
不慣れなるホーム暮らしや冬の梅	恵子
ケキョと鳴く徳利は九谷冬の梅	京子
蠟梅の蕾や匠のイヤリング	訓子
円らなる蠟梅対を貫けり	里美
冬の梅湯宿の門に仄匂う	とよこ
花卉に雪裏返る冬の梅	義明
凧揚げや風よふけふけもつとふけ	美代子
蠟梅の縦枝は西方浄土かな	六斗